

地域のつながりの中で 育つ子どもたち



～子どもたちが安心して生活できる＝人権が大切にされる取組みを創造しよう～

地域の人に見守られて 御原保育所の取組み



御原保育所では、地域の人との交流を大切にしながら保育に取り組んでいます。

毎年夏に行っている「みはらのなつまつり」では、子どもたちが地域の人との交流を通し、たくさんの人に見守られているという安心感を持つことをねらいとして取り組んでいます。

夏祭り前には、御原校区で行われている健康体操や公民館のサークル活動に出かけ、夏祭りに参加していただく地域の人たちと、顔見知りになります。

夏祭りでは、区長さんたちに手伝っていただきながら子どもたちがおみこしを担いで地域を回ります。また会場では、保護者や地域

の人たちのお店で楽しい時間を過ごします。

多くの人と触れ合う機会を持つことは、子どもがより豊かに育つために大切なことです。子どもたちが地域の多くの人に見守られながら過ごせるための取組みを大切にしながら、交流を深めていきたいと思います。

地域の子どもたちのつながりをつくろう 三国保育所の取組み

三国中学校区にある三国幼稚園・三国保育所が交流会を行うようになって、20数年が経ちます。現在は三国が丘保育園・みすず保育園の4園に広がり、同じ校区内で生活する子どもたちが交流できる大切な機会となっています。

最初は、緊張した表情で他の園児と遊んでいた子どもたちもすぐに楽しそうに遊びます。保護者からも「普段触れ合うことのない他園の友だちと接することができ、嬉しく思います。交流会を通していろいろな人、友だちがいるんだと感じる経験ができる」という声もあり、小学校入学にあたって子どもたちだけでなく保護者の不安を軽減することができています。

仕事や生活の状況が変化し、同じ地域に生活していても、子どもだけでなく大人同士も、つながりがつくりにくくなってきています。地域の保育所(園)や幼稚園が交流・連携することが、こうした状況を解消する1つの方法になればと考えます。



子どもたちは、地域のたくさんの友だちや大人に囲まれ、関わりながら成長しています。そのつながりは子どもにとっても、また、子育て家庭においても、安心して生活する土台となるものです。今後もこのような、子どもたちが安心して生活できる、人権が大切にされるための取組みを続けていきます。

●問合せ先 御原保育所 ☎72-5100 三国保育所 ☎75-5031